

5. 偏見・差別等の防止

1 感染者情報の公表

- 感染症法に基づく調査は、人権等を尊重
- 感染者情報の公表にあたっては、感染者等に対して、**不当な偏見や差別、誹謗中傷が生じないように**することが必要

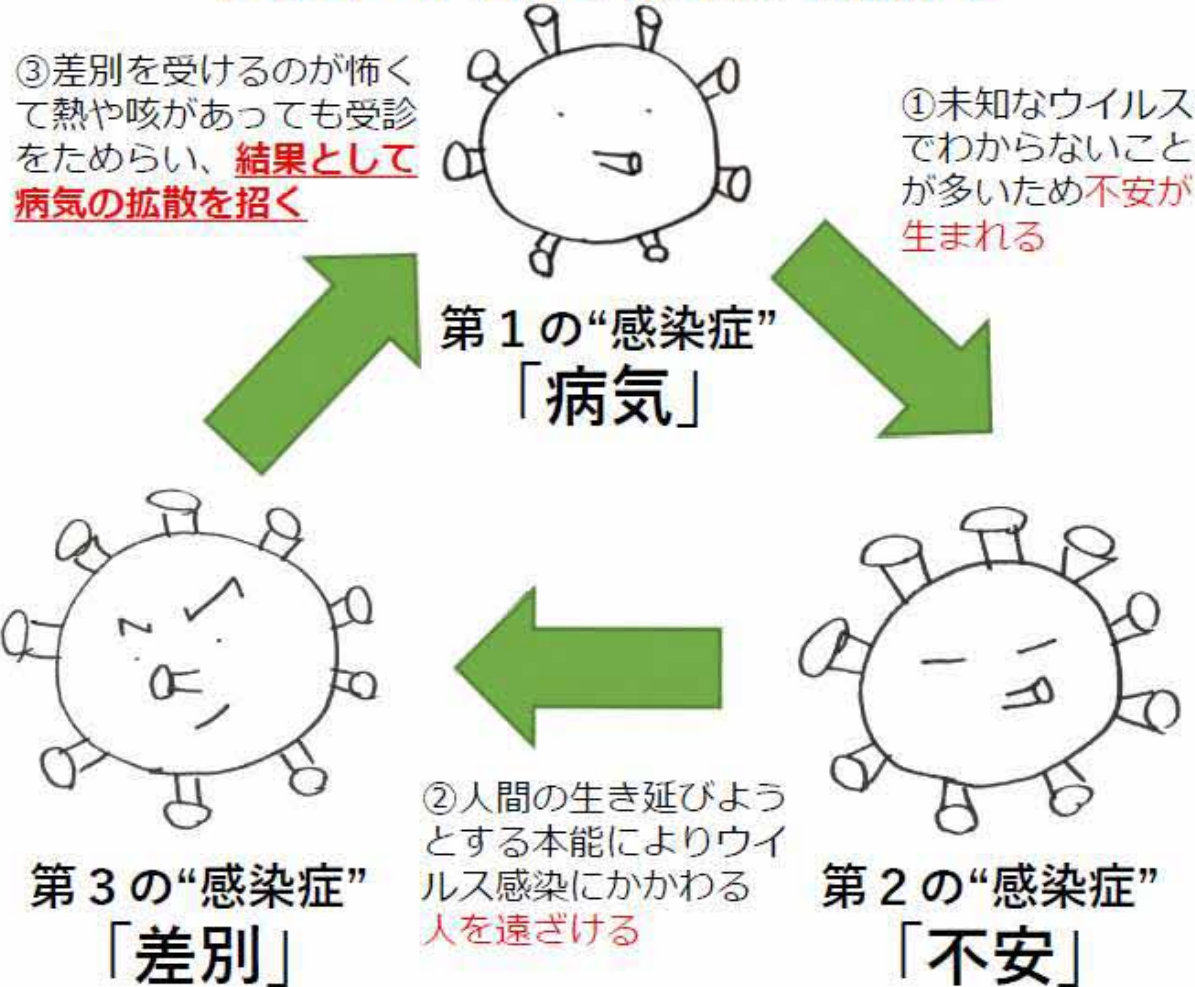
- **本人の同意を基本に、感染者情報を公表**
- **個人情報 は 厳重に管理し、プライバシーを保護**

※ 感染者情報の公表や差別的偏見の防止については、国の動向や市町村との調整等を踏まえ、今後の取扱いを整理

5. 偏見・差別等の防止

新型コロナウイルスがもたらす「負」のスパイラル

負のスパイラルで“感染症”が広がる



3つの“感染症”は
どうつながっているの？

この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながる事です。

5. 偏見・差別等の防止

なぜ感染者を特定する行為が生まれるのか・・・

「ウイルスは見えない」、「薬も簡単に手に入らない」といった不安や恐れが、様々な心理状態になってしまうのでは？

- 不安等から、感染者を特定して、「**自分の周囲では起こっていない**」と**安心**したい。
- 過度な恐れから、感染した方々等を「**嫌悪**」の**対象**として扱い、**差別的な対応**を取ってしまう。

5. 偏見・差別等の防止

不当な偏見・差別等の事例

- **罵声**を浴びせられる、**嫌がらせメール**を送りつけられる
- タクシーの**乗車拒否**、子どもの**通園・通学を拒まれた**
- **患者情報**が特定され、家族情報も**SNS等で拡散**された
- **攻撃的な電話**、郵便ポストへの**誹謗中傷の投函**
- **濃厚接触者**が特定され、**ウイルス扱い**される、勤務先が特定され、**勤務先が中傷**を受けた
- 検査段階から**噂が広まり**、市町村や保健所に問い合わせや**脅迫まがいの電話**がくる

5. 偏見・差別等の防止

偏見・差別等によって生じるおそれのある問題

いわれのない偏見や差別などへの不安・心配が、
様々なことを引き起こす可能性があるのでは？

- 体調や具合が悪くても、**相談や検診、検査**を受けることを**ためらい、他人に感染**させてしまうおそれ
- 感染が分かってても**職業や行動歴**などについて、**口をつぐんでしまい**、誰に感染させた可能性があるかなどが調べられず、**感染が拡がって**しまうおそれ
- 何かとウイルスと結びつけ、**精神的に追い込まれる**、「自分が悪い」と自ら傷つけてしまうおそれ